令和7年度第1回函館方面森警察署協議会議事概要

- 1 開催日時・場所
 - ・ 令和7年7月15日 (火) 午後1時30分から午後3時00分までの間
 - 函館方面森警察署 署長室
- 2 出席者
 - (1) 協議会委員 6名(定員6名)
 - 会 長 髙 橋 恵 子
 - 副会長 瀧澤 静
 - 委員根本あけみ
 - 委員阿部裕紀
 - ・ 委 員 西 﨑 る り
 - 委員 甲田祐康
 - (2) 森警察署員 4名
 - 署 長 嵯 峨 康 成
 - 副署長 塩野谷 卓 実
 - · 刑生課長 五十嵐 裕 治
 - · 警備課長 二本柳 恭 介
- 3 警察署長挨拶
- 4 委員挨拶及び警察署幹部自己紹介
- 5 役員選出
- 6 警察活動の概況説明
- 7 懲戒処分等の報告
- 8 速度取締指針の説明
- 9 協議事項

「在留外国人との共生社会の実現に向けた警察活動について」

- 在留外国人数の推移
- ・ 外国人との共生に向けた当署の取組み など

【委員】

町内にも多くの外国人技能実習生がおり、近くの一軒家にいつの間にか住み始めているが、素性が分からず不安に感じる。

生活面でも、ゴミの分別や、一部の地域では町内会に入会して会費を払わないとゴミを捨てる ことができないことについて、外国人技能実習生にきちんと伝わっているのか疑問である。

【警察】

警察署では、自治体と共同で、外国人技能実習生に対し、防犯や交通安全、生活面でのルールについての講話やセミナーを開催しているところですが、ゴミの出し方も含め、引き続き自治体と連携し周知してまいります。

【委員】

外国人技能実習生の滞在期間はどのくらいが一般的なのか。例えば数年滞在するのであれば、 地域住民としても、コミュニケーションの面で、外国人技能実習生の方に、町の行事などへ参加してもらい、文化交流などを積極的にやっても良いのではないかと感じる。

【警察】

滞在期間は企業との契約により様々ですが、最低3ヶ月間は実習することとなっており、長い人であれば10年近く滞在する方もいます。警察署では、受入企業等に対する管理者対策を行っておりますので、この様な意見をいただいたことを関係者へ伝えることが可能です。

【委員】

外国人技能実習生と直接会話してコミュニケーションを取ることは難しいが、翻訳アプリを 活用してある程度のコミュニケーションが取れていると思うので、翻訳アプリの活用は有効だと 考える。

【警察】

警察署においても、外国人の方が関わる事案等においては、端末の翻訳アプリを活用して、事情聴取等を行っています。

【委員】

外国人技能実習生による犯罪は、密漁以外では、どのようなものが発生しているのか。

【警察】

全国的な事例となりますが、窃盗のほか、強盗などの凶悪犯罪、組織的グループによる犯罪も 発生しています。

10 次回協議事項

事務局提案の「サイバーセキュリティなどについて」に決定した。

11 次回開催予定

令和7年11月を予定